

令和元年度 社会福祉法人愛誠会 事業報告

令和元年度は、利用者様への良質なサービス提供を第一に、職員の処遇向上と人材育成等を通じて資質の向上を図りました。これらの環境整備により、地域住民の皆様にご信頼され、安心してご利用いただけるよう、公共性の高い社会福祉法人としての使命を果たすべき役割を認識し業務の推進を図ってきたところであります。

平成30年9月6日発生しました北海道胆振東部地震による復旧工事は関係各位皆様のご支援によりまして事業費の清算も無事完了することができました。お蔭様をもちまして利用者様の生活も以前の様に日々平穏な毎日を送っております。

令和2年4月より健康増進法が全面施行になるのに伴い、受動喫煙防止対策として喫煙室の整備を実施しました。

かねてより懸案となっております職員確保に関しては、学校訪問を始めハローワークや民間紹介会社等を介して募集活動を行ってまいりましたが、新規学卒の採用はなく民間紹介会社から一部採用に至ったものの定着率は低く、依然として厳しい現状が続いております。

このことにより、多くの待機者を抱える「愛誠園」については、円滑な入所にも影響し、利用率の低下を招いた結果となりました。次年度も引き続き重点目標として取り組んでまいります。

障がい部門については、災害により移転したグループホーム「樹海」の利用者様も一年が経過し、地域とも良好な関係の中で暮らしております。

法人所有の車輛は、経年劣化等により走行に支障があるものから順次更新しておりますが、中央競馬社会福祉財団の助成をいただき、「むかわ夢風船」の車輛が更新できました。

平成元年度も終盤を迎えようとしていたところに、新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、国内においても北海道は高い発症率を示し由々しき事態となりました。これを受けて、特に福祉施設は集団感染が懸念されていることから、防止の観点から対策マニュアル等を通じて衛生面の配慮を徹底するとともに、ご家族にはご不自由をおかけしましたが面会の中止や職員においても外出自粛等を徹底し、感染予防に努めているところです。

新型コロナウイルス感染症の問題は、介護業界でも運営に影響が出始めており懸念しているところです。早期の終息を願っております。

〔重点目標と推進結果〕

(1) 経営全般

北海道胆振東部地震による損傷箇所の最後の復旧工事が行われ、追加の支出となりましたが、今後は通常の運営になりますので、利用者様へのサービスの低下にならないよう令和元年度も取り組んでまいりました。

(2) 人事・労務管理

人員不足については、ハローワークを始め学校や有料の職業紹介所、マイナビなど各関係機関を活用し確保に努めましたが、充足状況は悪く雇用情勢は依然厳しい状況でありました。

令和元年度中の職員の動静は、退職者が、18名（正規：8名、嘱託：4名、非常勤：6名）に対し採用者は、11名（正規：1名、嘱託：3名、非常勤：7名）であります。

(3) 事業運営関連

各事業所共に更なる利用実績の向上にむけた努力をしてまいりましたが、愛誠園では職員の人員不足から退所者に伴う空床に新規の利用者様を補充することが難しい状

態であり、厳しい経営状況となっております。

また、むかわ夢風船やほべつ就労支援センターでは、在籍する利用者様が定員を満たさない状況のため、元年度も近隣の市町村や関係機関などへの働きかけを行いました。今後も利用者様の確保と経営の安定に努めてまいります。

(4) 施設整備関連

愛誠園の施設整備事業実施については、大規模改修を整備目標にむかわ町第8期介護保険事業計画期間での実施に向かってむかわ町との協議を再開したところです。

(5) 生産事業関連

緑竜アペラスについては、平成30年度の震災により菌床棚が破損し、また発生棟等の一部破損により生産量が減少しましたが、令和元年度末にはある程度元の状況に戻ってきたところです。

ほべつ夢風船については、前年度（30年度）よりは少しづつ売り上げが伸びてきていましたが、2月からの新型コロナウイルス感染症の流行が出始め北海道からの「緊急事態宣言」が出され、不要不急の外出の自粛、学校の休校による給食のキャンセルなどがあり経営的には厳しくなりました。

就労継続支援事業（受託事業）による木質ペレットの生産業務については、苫小牧広域森林組合の指示により一部生産調整が行われました。

ほべつ誠和による生産活動（印刷、農産、クリーニング、軍手）については、令和2年度で利用者様の高齢化や職員の人員不足、受注の低迷などにより印刷・軍手については廃止することとなりました。今後はクリーニングと農産関係に絞って効率的には生産活動を続けてまいります。

(6) むかわ町移動支援事業の受託運営

令和元年度も利用実績はありませんでしたが、今後もむかわ町や社会福祉協議会並びに関係機関等との連携により、地域における障がい者福祉の増進を目的とした事業の定着に努めてまいります。

(7) 相談・苦情の受付

苦情について利用者様やご家族、地域の方々などから法人全体で10件ありました。その都度速やかに対応し解決されており、大きな問題には至っておりません。苦情解決委員会にて第三者委員の方々にも報告しております。

理事会・評議員会の開催状況、監事の監査状況

1. 定例理事会開催状況

回数	開催日	理事出席	監事出席	報告件数	議案件数
第1回	令和元年6月6日	6名	3名	2件	5件
第2回	令和元年9月26日	6名	3名	3件	6件
第3回	令和元年12月20日	5名	2名	5件	2件
第4回	令和2年3月24日	6名	3名	4件	7件
臨時	令和元年6月21日	6名	3名	1件	3件
計（延べ出席人数）		（29名）	（14名）	15件	23件

2. 評議員会開催状況

回数	開催日	評議員出席	監事出席	報告件数	議案件数
第1回	令和元年6月21日	6名	3名	1件	2件
計（延べ出席人数）		（6名）	（3名）	1件	2件

3. 監事監査実施状況

回数	開催日	出席監事	監査実施項目	監査意見	提案事項
第1回	R 1. 5. 28 (火)	3名	平成30年度の事業運営・決算、預り金管理、他	監査結果適正である。	なし。
	R 1. 5. 30 (木)	3名			
第2回	R 1. 9. 11 (水)	3名	利用者処遇及び処遇方針等、職員の研修、資格取得及び人員確保対策、預り金管理、他	監査結果適正である。	なし。
	R 1. 9. 12 (木)	3名			
第3回	R 1. 11. 28 (木)	3名	令和元年度上半期終了時点の事業運営状況・財務状況、預り金管理、他	監査結果適正である。	なし。
	R 1. 11. 29 (金)	3名			
第4回	R 1. 3. 6 (金)	3名	利用者処遇及び処遇方針等、職員の健康管理、預り金他	監査結果適正である。	なし。
	R 1. 3. 10 (火)	2名			

給食材料の購入状況

1. 給食材料購入額及び割合

月	穂別地域内業者	穂別地域外業者	合計
4月	3,376,914円 (64.54%)	1,855,477円 (35.46%)	5,232,391円
5月	3,433,905円 (65.43%)	1,814,341円 (34.57%)	5,248,246円
6月	3,186,102円 (59.62%)	2,157,848円 (40.38%)	5,343,950円
7月	3,174,492円 (58.40%)	2,261,398円 (41.60%)	5,435,890円
8月	3,177,091円 (62.39%)	1,914,826円 (37.61%)	5,091,917円
9月	3,137,124円 (59.45%)	2,139,391円 (40.55%)	5,276,515円
10月	3,029,255円 (59.10%)	2,096,124円 (40.90%)	5,125,379円
11月	3,057,715円 (59.19%)	2,107,805円 (40.81%)	5,165,520円
12月	3,396,528円 (59.85%)	2,278,920円 (40.15%)	5,675,448円
1月	2,990,252円 (58.25%)	2,143,467円 (41.75%)	5,133,719円
2月	2,753,331円 (60.74%)	1,779,597円 (39.26%)	4,532,928円
3月	2,470,581円 (55.92%)	1,947,747円 (44.08%)	4,418,328円
合計	37,183,290円 (60.28%)	24,496,941円 (39.72%)	61,680,231円
前年度	44,990,866円 (68.97%)	20,238,269円 (31.03%)	65,229,135円

※1) 上記は、給食業務委託業者取扱分並びに穂別高齢者グループホームみのり、グループホームかっぶりんぐの給食材料、水分補給飲料及び間食材料を含む購入額であり、行事等に伴う外食費用は除く。

※2) 給食業務委託業者取扱分内訳

	穂別地域内業者	穂別地域外業者	合 計
愛 誠 園	16,186,135円 (55.83%)	12,808,035円 (44.17%)	28,994,170円
ほべつ誠光	7,364,392円 (54.14%)	6,238,647円 (45.86%)	13,603,039円
ほべつ誠和	5,543,476円 (40.42%)	5,450,259円 (49.58%)	13,993,735円
合 計	29,094,003円 (54.29%)	24,496,941円 (33.03%)	53,590,944円
前年度	37,121,515円 (64.72%)	20,238,269円 (35.28%)	57,359,784円